

麻酔薬注射 心理療法も

病院の力 実

～ 神奈川編 68

今回は「ペインクリニック

(痛み治療)を取り上げた。病気やけがなどに伴って起きる痛みを専門的に治療するもので、主に麻酔科医が担当する。

まず、ペインクリニックまたは麻酔科が診療した2012年の新規初診患者数を掲載した。

「三叉神経痛」は、顔面に電気が走るような激痛が起きる病気。てんかんの治療薬であるテグレトールが有効とされるが、麻酔薬などを注射して神経の働きを一時的に抑える「神経ブロック注射」で治療することもある。

痛み治療

「帯状疱疹^{ヘルペス}」は、水ぼうそうを起すウイルスが原因となり、疲労やストレスなどで体の抵抗力が落ちた時に発病する。神経に沿って小さな水疱ができ、激しい痛みが表れる。高齢者などでは、皮膚症状が治まっても神経痛などの後遺症が残ることがある。抗ウイルス薬などで治療する。

痛みは人間関係のストレスなど、患者の心理的な要因が

影響していることもある。臨床心理士らが中心となって、痛みに対する悲観的な考えを修正し、前向きに生活できるようにする「心理療法」を試みている医療機関もある。その治療実績も掲載した。

他科とチームで対応策



聖マリアンナ医科大学病院麻酔科 (川崎市宮前区)

西木戸 修講師

ペインクリニックには、地域の整形外科や内科などのかかりつけ医に相談し、痛みの治りが悪いときに来てほしい。患者は70歳以上の高齢者が多く、腰と首の痛みが大半で、帯状疱疹が15～20%、がんによる痛みが10%ほどいる。

治療は神経ブロック療法が中心だ。これは痛みの原因となる神経近くに採血時と同じ太さの針を注射し、薬で痛みが脳に伝わるのを遮断する。この療法を適用するのは、1か月以上、薬物療法やリハビリ

病院の実力「痛み治療」

医療機関別2012年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	新規初診患者数 (人)	三叉神経痛 (人)	帯状疱疹後神経痛 帯状疱疹後神経痛 (人)	心理療法を受け た患者数 (人)	精神科 紹介 適宜 (人)
横浜ク	1149	12	101	0	0
横浜市大	682	27	51	0	0
聖マリアンナ医大	331	10	71	3	3
新丸子ペイン科内科	247	2	28	0	0
東海大	180	30	63	0	0
日本医大武蔵小杉	102	3	10	12	12
藤沢市民※1	71	1	12	0	0
社会保険横浜中央※2	67	1	27	0	0
昭和大横浜市北部	48	2	9	0	0
昭和大藤が丘	33	6	9	0	0

「ク」はクリニック。※1は他院からの紹介のみの実績、※2は2012年度実績

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。今回は10月6日「炎症性腸疾患」の予定です。